



Title	『北槎異聞』のロシア語
Author(s)	生森, 將人
Citation	大阪外国語大学学報. 1978, 42, p. 49-62
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/80711
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

『北槎異聞』のロシア語

生 森 將 人

О русском языке в “Хокуса Ибун”

ИКИМОРИ Масато

Дайкокуя Кодаю — это первый японец, который возвратился из России в Японию в период политики “закрытых дверей” сёгуната Токугава. Некоторые чиновники сёгуната допрашивали его в городе Эдо и оставили документ под названием “Хокуса Ибун”. В четвертой главе этой книги собраны около 650 русских слов. Это, может быть, первый, составленный японцем японо-русский лексикон.

В этой статье мы ограничились транскрипцией японских кана русскими буквами. Эта книга предшествует известной “Хокуса Бунряку”, которую составил Кацурагава Хосю в 1794 году, и доставляет богатое сведение русского и японского языков того времени. Эта “Хокуса Ибун” является одной из важнейших и ценных документов при изучении истории о знакомстве японцев с русским языком в конце 18-го века.

I 徳川幕府の鎖国政策下、ロシアより初めて帰国した伊勢の漂流民大黒屋光太夫については、新村出博士の『伊勢漂流民の事跡』、亀井高孝氏の『大黒屋光太夫』、井上靖氏の小説『おろしや国酔夢譚』等でよく知られている。この大黒屋光太夫はロシア語を学習した最初の日本人ではないが、ロシア語を生き生きとした形で、直接我が国へ伝えた、多分、初めての日本人であろうと考えられている。光太夫が伝えたロシア語の様相は桂川甫周編の『北槎聞略』巻之十一が最もよく知られ、これをもって「日本における最初の露日辞典である¹⁾」とか、「片カナでロシア語をしるした日本最初の項目別露和辞典である²⁾」と一般的には云れている。光太夫は寛政五年（1793年）八月江戸へ入ると幕吏の取調べを受け、同九月には吹上御苑にて十一代将軍家斉に謁見しており、それぞれの記録が『北槎異聞』、³⁾『漂流民御覧之記』として残されている。この『北槎異聞』を筆録した篠本廉は巻第一、起原で次のように述べている。「寛政五年癸丑八月漂流民幸太夫、磯吉二人江戸に召至る。池田長恵（原註、筑後守、町奉行）に付して、先其概略を問せられて後、彼二人を一舎に置く。又中川忠英（勘三郎）、間宮信如（諸左衛門、以上二人皆御目付）、時に往てこれに臨む。これは彼ヲロシアの風土の厚否、山河の美悪、順逆の情、強弱の勢、又漂流民歸來の事情、従容とこれを問て、其實を得べしとの事也。廉政府の旨をうけて其座に陪して参問筆記す。」（p p. 111~112）桂川甫周によって『北槎聞略』が編まれたのは寛政六年八月であり、『北槎異聞』におよそ一年遅れている

ことは、見逃すことの出来ない歴史的事実であるように思われる。しかしながらこれに言及した文献や論文は極めて少ない。高野明氏が『北槎異聞』は『北槎聞略』に先行する文献として重要な役割を果たした記録であった。」と僅に触れているにすぎない。⁴⁾

II 『北槎異聞』は巻第一・起原、流密浪跡、巻第二・視聽叢談上、巻第三はその下、巻第四は魯西亞語という構成になっている。巻第一から第三までにも数多くのロシア語単語・短文が含まれており、貴重な資料を提供している。

光太夫はいかにしてロシア語を習得していったのであろうか。光太夫が初めてロシア語を使って意志疎通をした様子は次のように述べられている。「アミシイツカにて、言語の通ぜざりしこと凡半年ばかりなり。魚をあたへたるをば食へということ、心得て、煮て食す。其他もかくの如くわづかに用たりし也。初めより人々來りて髪をなで袖をひきなどして、其度ごとにエトチヨワ (Э́то че́го?)⁵⁾と云を何とも心得ざりし也。後に是は何ぞと問ふ言ならんと推はかりて或時大なる鍋を指てエトチヨワと此方より云たりしに、コチヤウ (ко́чѳя) と答へたり。さて又他の物をもエトチヨワと云て問へば、各其物の名を答へたり。彼方よりエトチヨワと云ときは、此方のそれぞれの名を云てこれに答へたるより、互に通じあひたり。」(pp.116~117) 光太夫のロシア語の知識は次第に深まり、「イワンは名也。ピウトロイチはピウトロが子と云こと也」(p.125)と父称の存在に気付いたり、ヤツパンスコイ(日本)、キイタイスコイ(清)、ヲロシスコイ(魯西亞)等より、「スコイとは国と云こと也」(p.141)と、間違っているが、スコイを抽出したり出来る程になっていく。更には「文字は旁行の文字なり。此邦の假名の如く文字に音ありて訓なく、二字を組合せて一音をなす。濁音の字(原註、パビブペボのたぐひ)、半濁音の字(原註、パビブペボ)各別に其字ありて、一字に用せず。二字を組合ずといふは、必アイウエヲの母音を、他の音の字の下に添ゆ。母音へはカキクケコ五音、其中唯一字を用て別に字無し。カと呼んとすればカアとアの字を添ゆ。キと呼ぶにはカイとイの字を添ゆ。クにはカウ。ケにはカエ。コにはカラ。、唯一字にて五音をなす。又サシスセソ五音、其中一字を用て別に字無く、サの字一字にアイウエヲ五音をなす。サなればサアシなればサイ。スにはサウ。セにはサエ。ソにはサヲを、他は皆此例なり。」(pp.181~182)と綴字法にも及んでいることは幸太夫のロシア語力が読み、書き、話す点でも相当なものであったことを示す証左であろう。巻第三までには、地名、人名等の固有名詞、民族名等を除いても、巻四に含まれていない単語が約65も挙げられている。巻四の約650語と合算すれば700語以上である。この数だけをもってしても『北槎異聞』巻四こそ日本で初めての和露辞典、和露語彙集であったと敢て称してもいいのではないだろうか。

III 『北槎異聞』で使用されている仮名表記にはいくつかの特徴が見られる。

1) 語頭の **po**, **pa** はヲロ又はウロと表記される。これはロシア語の **p** が強い巻舌の流音であることからと推察される。

労働 ヲロボタイ **рабóтай** 口 ウロウツト **пор**

2) **г** の前の **е** はやとなる。

電 シネヤカ **снег** 磯 ナベリヤゴウ **на берегу**

3) **л** は語頭を除きウと表記され、実際の発音に近づける工夫がなされている。

顔 リチヲ **лицо** 電 モウニヤ **молния**

4) 語末又は音節末尾の **м** はンとなる。

雷 ゴロン **гром** 倉 バンバラ **в амбár**

5) **и** と **г** の音結合はイグとならず、イニギ又はングとなる。

戯遊 イニギライ **играй** 書籍 キンガ **книга**

6) 語末の子音、特に **к, т, х, л** 等は脱落する。

手巾 プアト **платок** 不足 ネットスタニ **недостáнет**

豆 ゴロ **горóх** 鐘 コロコ **кóлокол**

7) その他 **дя-**がリヤ、**вч-**がチチ、**сап-**がサンポ、**-д-**がルになるなどの例も見られる。

伯叔父 リヤリヤ **дядя** 昨日 チチャラ **вчера** 履 サンポウキ **сапоги** 船 スルノ **сúдно**
一方、文法面からは、動詞の単複形の区別(例、鳴く)が明確である反面、形容詞と名詞の不一致(例、毎年)、日付の数え方(例、十一日)の不正確さなどが散見され、語彙面では明らかな勘違い(例、指の名称)や脱落(例、熊子)などが指摘されよう。このような欠点があるにも拘らず、この書が日本人の初期ロシア語学習の記念碑としての価値をいささかも減ずるものでないことは多言を要さないであろう。

Ⅳ) 以下、巻第四魯西亜語の資料を提示し、ロシア語の推定形を現代ロシア語表記で私案として提出してみたいと思う。原文は縦二段組みであるが、便宜上横組みにした。() は脱落部、ロシア語訳の後の ? は恐らくその形であろうと思われることを示し、= は現在迄推定出来なかったことを表している。ロシア語の仮名表記の誤りが⁽¹⁾光太夫自身の聞き違い、記憶の誤りから来るものか、(2)篠本廉の聞き違い、筆記の誤りから来るものかは、にわかに断定し難いので今後の研究に待ちたい。『北槎聞略』は勿論のこと、『魯西亜文字集』、⁽⁶⁾『魯西亜辨語』、⁽⁷⁾『魯西亜語類』等のロシア語古辞書との比較対照研究により次第に明らかにされていくものと思われる。

※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※

北槎異聞巻第四

魯西亜語

曠日の用を待つ者は、收藏縣鼓の類に及ぶ。山海の大を爲す者は、細小を辭することなし。故に零言碎語彙して編末に置。然れ共彷彿音響ついに録取の数にあらず、聊目前の遺を拾ふ、豈日後の用に備ふと云んや。

●天文類

天 ネボ **небо**

日 ソンソ **солнце**

月 メイセツ **месяц**

星 ズデズデ **звездá**

風 ボコタ **погода**

雲 ヲボラケ又ヲフラス **облако / облас**

雨 ドヲシ **дождь**

霜 イイネ **íней**

氷 リヤラツト лёд

霞 ガラト град

雷 ゴロン гром

火 フコニ огонь

東 ヒトシナ (во) стóчный

南 ボウセン по́лдень

●地理類

地 ゼムリヤウ земля

島 フホスツトロフ острова́

天下 インペリヤ импе́рия

洋 フケアニ океа́ны

溝 カナアル кана́л

海 モリヤ又モレ моря́/ мо́ре

平山 ニスカゴラ низка́(я) гора

流 ヘシ течь

磯 ナベリヤゴウ на бере́гу

林 レス лес

土 キニナ глина́

礫 ヌリンコイカメンノ ма́ленький ка́мень

穴 テラ дыра́

捷徑 エトドロガヒリスカ э́та доро́га близка́ (близко)

城 ドラレフ дворе́ц

驛 ゴロド又スタネフ го́род/ста́нция

街 ウ・レフ у́лица

陸田 ハアシニヤ па́шня

洞 ラフセリナ пеще́ра (?)

湖 ホリシヨウエヲセロ большо́е о́зеро

日本 ヤツパンスコイ япо́нской

蝦夷 クリスコイヲストロフ Кури́льские острова́

●時令類

春 ウエスナ весна́

秋 フセシ о́сень

晨 ウダラ у́тро

晝 ボロゲナゼン полови́на день

雪 シネヤカ снег

霧 トマシ тума́н

電 モウニヤ мо́лния

烟 デム дым

西 サアパアト за́пад

北 シウエル се́вер

国 スコイ -ской

界 チヤステ ча́сть

港 カアワニ га́вань

川 レカ река́

井 コロジツ коло́дец

山 ゴラ гора́

沼 フゼヲ о́зеро

浪 ボロノ во́лны

石 カメンノ ка́мень

陸 クロゴシ круги́

水 ボタ вода́

灰 ペピラ пе́пла

通 ドロカ доро́га

砂 ベツソカ песо́к

市店 ウリツァ у́лица

田舎 フレウナ дере́вня

谷 レイツイナ «го́рный» руче́й

池 フセロ о́зеро

瀑布 ブイストコ бы́стро / быстри́на(?)

夏 イレトレタ ле́то / лета́

冬 ジヤ зима́

日午 ボウセン по́лдень

暮 ウエルチエリニヤ вече́рний

夜 ノチ ночь	時 チヤス час
今 トベリヤ тепѣрича	昔 ダムノシノイゴタミ давнишними годáми
今日 シヤウニ сего́дня	今夜 シヤウテチ сию́ ночь
昨日 チチヤラ вчера	明日 サスタラ за́втра
あさって 後日 ボシテサスタラ послеза́втра	去月 ボロストイメイセツ про́шлый ме́сяц
去年 ボロストコイゴウタ про́шлый год	今年 シヤウゴタ сей год
明年 ドロコイゴウタ друго́й год	時節 ウレメノ времена́
毎日 シヤウコイゼン (в)ся́кий день	毎年 シヤウコイゴウミ (в)ся́кий год
先日 ヘレイジノゼン пре́жний день	何時 スコリコエチヤスイ ско́лькое часы́
幾日 コトロエゼン кото́рый день	幾月 コトロエメイセツ кото́рый ме́сяц
幾年 コトロエゴダミ кото́рый годáми	さきほど 適合 (?) ネタフノ неда́вно
日長 デントギドコイ день до́лгий	日短 デニコロキ день коро́ткий
晨明 スベタ свѣтло	薄暮 チヨムノ темно́
正月 エンワアル янва́рь	二月 ヘウラリ фе́враль
三月 マルタ ма́рт	四月 アブレイリ а́прель
五月 マイ ма́й	六月 イエニ ию́нь
七月 イユリ ию́ль	八月 アウス áв(гу)с(т)
九月 センチャアブリ сентя́брь	十月 ラキチヤアブリ октя́брь
十一月 ノヤアブリ ноя́брь	十二月 ゼクアブリ дека́брь
朔日 ベルタイチイスロ пе́рвое числó	二日 フトロエ второ́е
三日 テレтейエロ тре́тье	四日 セチウエルトイ четве́ртое
五日 ビヤアトエ пя́тое	六日 セストエ шесто́е
七日 センモエ седьмо́е	八日 ウヲシモエ восьмо́е
九日 ゼビヤトエ девя́тое	十日 ナゼシヤトエ на деся́тое
十一日 ベルタイナゼシヤトエチイスロ пе́рвое на деся́тое числó	
十二日より十九日迄はテシヤトエ (деся́тое) の上に二日、三日とかへて云ふ。二日フトロエテシヤトエ (второ́е деся́тое) 三日テレテイロテシヤトエ (тре́тье деся́тое) と云なり。	
二十日 ドムワデシヤトエチイスロ два деся́тое числó	
廿一日より廿九日迄はドムワデシヤトエ (два деся́тое) の下に一日、二日、三日と添て云。トムワデシヤトエベルタイチイスロ (一日) (два деся́тое пе́рвое числó) 、トムワデシヤトエフトロエ (二日) (два деся́тое второ́е)、トムワデシヤトエテレтейエロ (三日) (два деся́тое тре́тье) と云ふ也。	
三十日 テレテシヤトエチイスロ、три деся́тое числó 三十一日 テレテシヤトエベルタイチイスロ три деся́тое пе́рвое числó	

●人物類

天子 インペラアトウル император

人 チヨロウエカ человек

女 ゼンシナ жéнщина

母 マチュシユカ мáтушка

祖母 バ、シカ又シタロハ бáбушка / старúха

伯叔母 テツカ тётка

孫 ウノカ внук

弟 ボリシヨイバラアト большóй брат

妹 マアライガラアイ мáлой годáми(?)

妻 ゼナ жена

君 パアレん бáрин

宮女 ラケイカ лакéйка

家僕 スワルカ слугá

師 ウチヨンイチチヨロウエク учёный человек

弟子 ウチンニイカ ученик

僧 ボウフ поп

農民 バンセイノイ поселянин

大匠 ポロモチンカ промýшленник

獵師 ポロモシライ промýсла

鹽舗 ツリキフカ =

少年 モロドイムジカ молодóй мужíк

初年 ネウエリイコイ невеликий

主 ホジヤイノ хозя́ин

美人 カラシイウタイ краси́вый

愚者 ドロカ дура́к

媒人 スワタ сват

貧人 ネボハトイ небога́тый

盜賊 ウヲル вор

寡婦 ヲドウ вдова́

情婦 リウホウウニイチヤア любóвница

相識人 ピリヤテリ прия́тель

女帝 ゴスタレニヤ госуда́рыня

男 ムツシナ мужчи́на

父 バチュシユカ ба́тюшка

祖父 テエト又ジヤゼシカ дед/де́душка

伯叔父 リヤリヤ дядя

子 スン сын

兄 ボリシヤアフラアテ большóй брат

姉 マスグラ мо́я сестра́(?)

夫 ムウシエ муж

女媳 ドワテ зять

臣 ラケイ лакéй

少婦 テウイツア тётя

家婢 スルジヤミヤ служáнка

朋友 タワレン това́рищ

醫人 ポレイカレ подлéкарь

商人 クツヘイツ купéц

漁人 ホロモシライ промýсла

酒家 カバアカ каба́к

老人 セタリイカ старíк

一門 ヲルノイ родные

婿 スワタ сват

貴人 ヲスホジン господа́ин

智者 ヲストロイ о́стрый

士人 アキリチエロ офице́р

富人 ホハトイ бога́тый

乞者 ニワシエイ ни́щий

鰥夫 グトウエイツ вдово́ц

妾 フリヤアツカ прости́тутка

戀人 リユボイツア любóвница

懶人 セニヲイ ле́нвый

異國人 イノセイメツイ инозе́мцы

工人 ムジカ мужи́к

訴人 ナカザテレ наказáтель

水練 ウヲドラアス водола́з

名畫 シイウヲピン жи́вонись

惡黨 スウヲテイ злоде́й

嬖人 ヲヘリシニカ фаво́ритка

才人 イエレメシンノイ =

老實 ホツセンノチヨロウノエカ хоро́шенький челове́к

伶俐 ウムレノイ у́мный

聾者 グルホイ глухо́й

●人事類

生 ロジツ роди́ть

活 ジョヲト живёт

初見 ツタラストイ又ヘルヘタイビシユニ

讀書 キンガチタヒ кни́га чита́ть

自喜 ウツコメリヤ =

掃除 テイヒナ чи́стка

烈懼 イスホガアリ испугáли

行歩 ホジ又ホイシヤウン ходи́ / хожу́

奢侈 ボロマトウ = 傲慢 フワアル го́р(дый) 和睦 リユビ люб(о)вь

猜疑 デベトシヤネホロシヨ тво́я ду́ша не хоро́шо

應對 スカゾヲ скажу́

奇遇 ヒジュニウエセラ ви́жу ве́село

誼 バルノイ = 來 ヒリヤハウ прие́хал

止 ヘレシタ перестáнь

泣 グラアチ пла́чь

呼 ホジ ходи́

買 クツヒユ куплю́

計 メシテヲロワユウレ =

尊敬 イリウコイ = 戲弄 イギライ игра́й

作禮 スタラストイ ста́роста

旅人 ザエゼチエロウエツカ зае́зжий челове́к

鍛冶 クジニツウ кузне́ц

讒人 スウイテテレ наскви́лянт(?)

畫人 シウヲピイセツ живопи́сец

名筆 ホロシヨウビイシヨト хоро́шо пи́шет

寄寓 イジデウエニヤ жи́ть вре́менно

伴侶 メシタボイジヤウン мы с тобо́й в жи́зни

啞者 ネモイ неме́й

死 ウウメル又ヲメル у́мер / (п)о́мер

居 シデジ сиде́ть

初見 ツタラストイ又ヘルヘタイビシユニ здравствуйте / впе́рвые ви́жу

讀書 キンガチタヒ кни́га чита́ть

遣使 ボヌラユ посыла́ю

逃走 オヘシヤウ убежа́л

怕差 シテンナ = 歇息 ヲテハイ вздыхáе(т)

疲倦 ウスタアル уста́л

和睦 リユビ люб(о)вь

催促 スコロスセ скóрость

遣 ポジメ поди́

乘 サジイシイ садись

寢 シッペ спи

悦 スナヲボヲ поздравля́ю

扶持 ホロセンカモスタレ хоро́шенько(?)

謗 コウレンニネホロレヨ ко́рень не хоро́шо

相見 ヤビシエニ я ви́дел

問候 ナツヲヤスイゴウシテ ＝

喫飯 タシヤイ кўшай

點頭 サズチ согласить(?)

算 チタイ (с)читай

教 ウラナ＝盜 ヲカラウ укра́л

縫 シヨト шьёт

取 ベリヤウ беру́

拙工 ネホロシヤウ нехорошо́

搬送 タスカイ таска́й

●身體類

身 シヤツツ мя́со

口 ウロウツト рот

齒 ツベ зу́бы

鼻 ノウスイ носы

耳 ウシ ўши

指 バアシツ па́лец

胸 セイルツヲ се́рдце

髮 ウヲウヲスイ во́лосы

男陰 ホイ фуй

毛 ボロク又ヲロツ вол(ос)о́к / во́лос

血 コロフ кровь

眉 ブロゲ бровь

唇 クバ губа́

頬 シテエカ щека́

腹 ブリボ брю́хо

臍 フフ пуп

大指 ハアリツ па́лец

中指 ウカサテリイ указа́тель (ный)

小指 ラヅム ра́зум(ный)

尿 サカセイワ ＝ 魂 ハツメ ра́зум

●宮室類

家 イスバドマ изба́-дом

浴室 ハニヤ ба́ня

廁 ヌズナ ну́жник

笑談 ゴヲレ говорí

吹烟 コウレ курí

笑 シメヤツ смея́ть (ся)

歸 ナザテ наза́д

脱 フラツチシキン ф́рашкy скинь

逗留 ナチウヤマ нoчлéг

良工 ホロシヤウヲロボタイ хорошо́ рабóтае(т)

勞働 ヲロボタイ рабóтай

炊飯 イシワリ е́сть варí

體 コウルフステイワ ко́рпус те́ла

舌 エジキ язы́к

目 ガサ глаза́

咽喉 ゴルラ го́рло

顱 ゴワワ голова́

手 ルキ ру́ки

足 ノギ но́ги

髭 ボロダ борода́

女陰 ヒスダ пизда́

骨 タフタ таф́та(?)

顔 リチヲ ли́цо

背 ニツヘナ спи́на

掌 ワドニ ладо́нь

腰 ホエスツア поя́сни́ца

尻 ワツハ за́д

額 ウラフ ло́б

人指 ホリシヨイ большо́й

無名指 スレニ сре́дний

糞 コブノ говно́

魄 ラヅム ра́зум

門 ウヲロタ воро́та

倉 バンバラ в амба́р

窗 ヲクノ окно́

戸 ズウエリヤ дверь

柱 マシタ мачта

宿舎 ナチラヤマ ночлэг

尼寺 ゼンスノイマヤルシテラ жёнский монастырь

●草木類

草 タラワ травá

花 ツウエイト (開) цвет

＝ 枝 リス ＝ 葉 リストヲロ листьá

林 (見地理類)

實 チテジイリフ ＝

柿 ヒンネヤアコテ хинная ягода

蕃椒 アカトラカンスコイヘレツ астраханский перец

煙草 タバアコ табák

豆 ゴロ горó(x)

胡瓜 ウグリツイ огурцы

芋蓂 アリトヲス картóшка

蕎麥 ギリヲウシナ гречíха

種 レイテイカ редька(?)

●鳥類

鳥 ヒチツ птица

虫 ネヒコマヤ насекóмое

鶴 ジウヲソ журавль

鷺 ヲリヤウヲ орёл

雌雞 クウリツワ кúрица

雀 ジユラファイ журавль(?)

(衆鳴) ホコウト пою́т

虎 バアルス барс

熊子 ゼチエイ дете́й

鹿 ヲレン олень

犬 ツバカ соба́ка

牝狗 ヒスタ пизда́

牝牛 コロワ корóва

牝馬 コフラ кобы́ла

牝猫 マウシカ кош́ка

井 コロシツ коло́дец

橋 モスト мост

寺 ツエリコ цёрко (вь)

木 ゼロワ де́рево

ロシヤウエヲ (落) ソノウホ ＝ (萎) ホツアリ

根 ユレン ко́рень

薪 ドロワ дрова́

柚 リモン лимóн

胡椒 ゴロシチエトイヘレツ го́рничный перец

米 ヒセナ пшенó

瓜 デナ ды́ня

西瓜 アルブウス арбу́з

蘿蔔 レイテカ ре́дька

藥草 ゲルヌコ＝胡麻子 コノヲヒレノセイシヤ се́мя

木皮 ラキタカ ＝

獸 ツウエリヤ зверь

魚 シイハ ры́ба

雁 グシ гусь

雄雞 ヘトハ пету́х

鳥 ウヲロノ воро́на

鳥鳴 (單鳴) ホヨヲト поёт

飛 スカアチヨト ска́чет

熊 メジベシ медве́дь

熊皮 ヲヲジヤウ ко́жа

豕 シミニヤンスウエニヤ сви́нья

牡狗 ホイ фуй

牡牛 ブツクワ又ブウカ бык / бы́ка

牡馬 コウニ ко́нь

牡猫 コウト ко́т

狐 リシツ лисы́ца

野猪 シビニアシ свинья

角 ロガ рогá

馬嘶 ヲルジョト ржёт

鼠 キリス крыса

虱 フセイ вшей

蚓 キリイストゼミレノイ червь земляной

虫鳴 ブンヲド＝鰯魚 カラン карась

鯀 カラスナレイハ красная рыба

●數目類

一 ヲジン один

三 テリ три

五 ヒヤアチ пять

七 セイミ семь

九 ゼイベツ девять

百 シト сто

百萬 ミリヨン миллион

一間 サゼン сажень

半分 ボロケナ половина

●器用類

車 コレッツ колёс(о)

船 スルノ судно

小舟 ラウツカ лодка

桅 マシタ мачта

艫 ノウスイ носы

錨 ヤコリ якорь

弓 ルウク лук

鐵砲 ロジヤ ружьё

佩刀 ブツハアナ шпага

小刀 スクラツノイシカ складной ножик

樋 カドシコ又フヤカ каdochка

盃 リムカ рюмка

酒樋 ボヲチカ бочка

傘 ゾンチカ зонтик

糸 テイチキ ниточки

猿 ヲベレジヤヲ обезьяна

狗吠 ワアエチム лаять

牛鳴 メチイト мычит

蚊 コマラ комара

蛇 ズメヤ змея

蟄 リヤグシヤ лягушка

大口魚 タラスト тарань

海鰱 キトイナ＝海鼠 モリヤヲクルナ моря окунь

二 デワ два

四 チヤテラ четыре

六 セイシ шесть

八 ウヲウセミ восемь

十 ゼイセツ десять

千 テイセツ тысяча

一里 イヨルスト вёрст

一尺 アリシン аршин

輿 キビツカ кибитка

大船 カラヒ корабль

帆 ハルス парус

舵 ルイ又ルリ руль

舳 コルマ корма

櫂 ゲレポウカ гребок

矢 ステリカ又シテライ стрёлка / стреляй

大炮 フランカ пушка

劔刃 ノジカ ножик

錨 コチャウ котёл

蓋 キリシカ крышка

樽 カアチカ кадка

綱 ヒチカ бечёвка

繩 ゼロフカ верёвка

針 イグワア又イコリカ игла / игóлка

珥 セリゲ сѣрьги	婦人耳輪に穴して懸く。金銀又玉にてかざる。		
指環 ベレヌテ пѣрстень		櫛 ゲレベン грѣбень	
臙脂 カラス、カライ крас(ка)/красить(?)		剪刀 ノジンチ ножницы	
砥 ズルス брус		陶器 ツエニン ценіна	
印 ゴリヤウ＝印板 ペフチャアトイ печат(н)ый		板 ドスカ доска	
紙 ブマアシ бумажки		算盤 シチヤウワカ又シヨトイシヨウテ счёты	
鏡 ゼリカ зѣркало		箱 ヤカシキ ящик	
時鳴鐘 シャスイ часы		老眼鏡 トロポカライ трубковой	
茶碗 チャアシユ又カメンノイヲヤアシコ чаш(ка) / каменная чашка			
飯碗 ゼロワンノチャアシユ зелёная чаш(ка)		匙 ロヲセキ ложки	
杓 コビヒキ ковш		卓子 ストウ стол	
登子 シカメヤ скамья		掃帚 チイヒチナノイ ＝	
烟筒 ガンザトルツポカ ганза трубка		雁口 トロポカ трубка	
吸口 ムシシコトヲカ мунштук		扇子 ウエルイ веер	
革 ベラ ＝		墨 チエリニイ черні(ла)	
書籍 キンガ книга		字 ヒシマ письма	
繪 カリテナ картина		文匣 ブマジカ бумажка	
線香 ドフンノイ ＝		蠟燭 スウエチヤア свеча	
燭臺 ボツレイシユカ подсвѣчник		提燈 フワナリ фонарь	
火刀 ひうち ヲコマヤ＝火石 キレメニ кремѣнь		火藥 トルツコ ＝ 鋸 ヒイリ пилы	
錐 トロブカ трубка		鐵鎚 モロトヲカ молоток	
棒 パアカ палка		長鋸 コツビヨ копѣ	
剃刀 カピリイトムワ бритва		盖 ワムルキロノリヲカ ＝	
鎖 ゾモカザモヲロ замка / замоk		鑰 ヒリウチ又キリチ ключи	
鐘 コロコ колоко(л)		鼓 ベラバン барабан	
琴 クウレン гусли		笛 ファイレイタ флейта	
硝子 スチクラ、フラスコズテウカ стекло		地圖 クウスト ＝	
萬國圖 ブラフス глобус		日記 カレンタアレ календарь	

●衣服類

衣服 ブラテキ платье	帶 クシヤアカ кушак(а)
襦 ポロキ ＝ 衿 ロバシカ рубашка	袴 スタイノ штаны
裘 ジュバ шуба	履 サンポウキ сапоги
頭巾 コツバアカ колпак	手巾 ブアト плато(к)
蒲團 ボステレ постель	禮服 モンゼイル мундир

藝衣 カフタン кафтан

惡服 ネホロシヨプラツテ нехорошо платье

絹 タフタ тафта

天鵞絨 ウエリウエレ вельвет

雨衣、袖あるをセネリ、袖なきをヒラシカ шинель, фράшка

衣紐 ブクリツ = 笠 リリヤツパ шляпа 裁 コロイ крой

縫 シヨツト шьёт

●飲食類

茶 チヤナ чай

酒 ウヲツカ водка

酢 ラクシ ўксус

大菓子 ヘレアヤニカ又ビリヤジンカ печенье, пирожки

烟草 タバコ又タバ табак / таба(?)

果實 ヤブラカ又ヤゴテ яблоко / ягода

調理 ストラバイ столовая

午飯 バアウジュナユ поўжинаю

酔 ビヤン пьян

辛 グリコ горько

鹹 ワロノ солёно

煮 ワリウ варю

硬喉 ボタウイウサ＝

●聲色類

青 シイコネ又ゼロナ сіненький / зелёный

赤 クラスチ красний

黒 チヨルノイ чёрный

紺 ワシヨウコイ＝

奇麗 チヒチナ чистый

明亮 スベツノイノチ світлая ночь

●珍寶類

金 ゴロタ золото

銅 メツノイ медный

鋼 ウクワアト = 玉 カメンノ камень

蠟石 ムラアモヲ мрамор

金錢 ゴロテデンキ золотые деньги

美服 ホロシヨブラチ хорошо платье(e)

木綿 ダバ даба

毛氈 ツクノヲ сукно

布 ホウス холст

шинель, фράшка

裁 コロイ крой

飯 イシ又ケワアシヤ есть/каша

油 ジイル жир

羹 シツチ тесто

砂糖 サハル сахар

菜根 コウレン корень

朝飯 ザウフチリカコ заўткаю

夕飯 ウジュナコ ўжинаю

甘 スラツコ сладко

苦 ポロチウノ протівно

酸 キイスロ кисло

煎 ジヤアリウ жарю

湯氣 バリト варит

黄 ツロツタイ золотой

白 ベイロイ又ベライ бёлый / белой

縹 ゴロボイ голубой

佳香 ドフホロシヨウ дух хорошо

鳴 ゲレシト＝

晴 チウムノ темн(?)

銀 スエプロ с(ер)ебро

鐵 ゼレゾ железó

石 カメンノ камень

錢 デンギ деньги

銀錢 セレベデンキ серёбя(нные) деньги

銅錢 メツネデンキ мѣдные дѣньги

●通用類、言語

好 ホロシヨ хорошо

遠 ダリヲカ далёко

重 チエスロ тяжко

中 セレゼネ (в) серединѣ

外 ヲソゴ = 後 チエスロ =

多 モノヲカ много

長 トゴイ долгий

深 グホラコ глубоко

清 チヒチナちст (ый)

直 ピラマ прямо

大也 ボロシヨイ большой

有之 イエノステ есть

持來 ピルニセ принесѣ

安否 スドロワ здорово

勿忘 ネザボヘ не забудь

僕 (自稱) ヤ я

言之 ゴラレ говорѣ

箋筒 スコルカ сколько

始 ヤベルライ я первый

速來 スコロポジ скоро подѣ

至高 ヲヲナニイソヲコ очень высоко

連 スコロ скоро

他物 ヲツビリワイ = 無異 スドロワ здорово

可笑 シメヤツ смеять(ся)

忘 オボヲ забуду

請乞 ムニヤボタレ мне подарѣ

追 ポヲヒチ = 感謝 ボコルノイ、イラヲダラストイ покорный, благодарный

快樂 ウエセラ весело

戲遊 イニギライ играй

盛歎 トヲンナポコルノタラストイ = 彼此 チヤツトモエ часть твоя

強力 ブルヲルノイ бурный

不足 ネットスタニ недоста́не(т)

不好 ホクダ худо

近 ビリスカ близко

輕 リヤウツコ легко

高 イソヲカ высоко

遲 ポウズド позд(но)

短 コロツカ коротко

淺 ミヤウヲカ мелко

厚 トスドイ толстый

當 ポワヲウ попал

小也 セリシユイ = 有諸 リイエシリイ есть ли

持去 ウニセ унесѣ

此物名何 エトチョカ что чего

記得 ネザボウ не забуду

唯諾 チヨウスダレ чего-с сударь

足下 テ ты

何是 ゴヲダ когда

如何 カコマ какого

終 ポセンノ последний

胡說 チヤウヲルトコラレ человек то говорѣ(т)

至遠 ヲチニダリヲカ очень далёко

惡臭 トウホヲダ дух худо

頻數 チヤスト часто

整 ヤクビ якобы

可畏 ボイツ бойся

請觀 ムニヤポカヒ мне покажи

幸 スナラボ счастливо

軟弱 ネブルヲルナイ небурный

堅固 キリブカ крепко

有 ユイシ	есть	無 ネイト	нет
何人 カコイチヤウロウエカ	какой человек	虚言 ルカライ	лукавый
遺憾 ラスタニホツタ	очень худо	眞誠 ブラウダ	правда
再會 ドロコイアラシ	другой раз	再來 ラベチビリト	опять придѣ
減 ガワシ	＝ 可哀 ベンマヤシコ	бедняшка	
造為 ゼロイ	злой		
安心 トロツユ	＝ 羨 ラスタツコ	＝ 汝御名何 テロコイセムリヤ	ты какой земля
然矣 タクスダレニ	так-с сұдарь	最初 ベルライビジュニ	первый в жизни
卿知否 テベズナイヨト	тебѣ знают		
卿解飲否 テベヒノホツタ	тебѣ пить не хочется		
不聞 ゴラレヨ	говори	贈卿 テベボタクヤウ	тебѣ подарю
湯已沸 ボダキツヒ	водá кипѣт	思食 エイシテチウ	есть хочѹ
思飯 イシホツチウ	есть хочѹ	思飲 ヒイテホチウ	пить хочѹ
食之 クウシヤイ	кѹшай	飲之 ペイ	пей
開之 ウヲロズウエリニ	отвори дверь	包之 ザウエリニ	заверни
揉紙 ムスウ	мнѣшь(?)	絞絲 スチウ	＝ 挽 クツシュ
皺紙 スモクシロシ	＝	展皺紙 ウラスパラウリアコ	расправляю
摺痕紙 ズキップ	＝ 脱衣 シキシ	снимѣ	著衣 ナレワイナデン
		надевай ,надень	

<注>

- 1) 亀井高孝、村山七郎編『北槎聞略』（吉川弘文館、昭和40年）p.3
- 2) 亀井高孝、村山七郎、中村喜和編著『魯西亜辨語』（近藤出版社、昭和47年）p.19
- 3) 篠本廉『北槎異聞』（北門叢書第六冊、大友喜作編、国書刊行会、昭和47年）以下『北槎異聞』のページ数はこの書に従う。
- 4) 高野明、『日本とロシア』（紀伊國屋書店、昭和46年）p.207
- 5) 以下括弧内のロシア語は筆者の現代ロシア語表記による推定形を示す。
- 6) 亀井高孝、村山七郎氏の編著あり。吉川弘文館、昭和42年。
- 7) 木村三四吾編『業餘稿叢』（昭和51年）、pp.303～329 参照。